学校番号	４０５

令和２年度　芸術　［音楽］

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ　Ⅰ」　（教育芸術社）						
副教材等	高校生のための　新・楽典ワーク　（ドレミ楽譜出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■　「歌うこと」「楽器（ギター）を演奏すること」「音楽のしくみを知ること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。

■　学習の到達度は、授業で配布・回収するワークシート、副読本のワークの提出内容や実技テストで評価します。

■　音楽の学習は繰り返し練習することで身に付きます。授業中に集中して取り組み、自信を持って表現できるようになることで達成感も得られます。こうした経験が音楽を愛する心、また生きていく力となることを願っています。

実技テストは、授業中に受講生の前で演奏する発表会の形式で行います。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽は様々な要素（音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア、強弱、形式、構成など）が関連しあって形づくられていることを判別し、受け入れる。	楽譜に書かれていることをそのまま再現するように演奏するだけでなく、表現したい音楽のイメージを膨らませながら、思いや意図をもって演奏する。	姿勢や身体の使い方、呼吸法はもちろんのこと、さらにその発声や楽器固有の音がどのような特徴をもっているのかを考え、表現に結び付けて演奏する。	様々な音楽を聴き、それぞれの音楽が持つよさや美しさを味わう。文化的・歴史的背景などの特徴から音楽経験を豊かにし、創造的なな鑑賞の力を伸ばす。
評価方法	観察 ワークシート 演奏発表	観察 ワークシート 演奏発表	観察 演奏発表	ワークシート 鑑賞の記録

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう	**歌唱** 「校歌」「少年時代」 「0 sole mio」 基礎的な発声法や発音の仕方を身につける。 歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素に着目して演奏する。	○	○	○		a:歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素とのかかわりに興味・関心をもっている。 b:歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素の働きを感じて、表現を工夫している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技法を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターの基礎を身につけよう	**器楽** 〈ギター〉 「喜びの歌」 基礎的な奏法を身につける。 常に音色を意識し、曲想を生かして、演奏を工夫する。	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏に主体的に取り組んでいる。 b:曲想を生かして、主体的に表現を工夫している。 c:正しい奏法を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	音楽を聴く力をつけよう	**鑑賞** 「バレエ音楽『ボレロ』(ラヴェル)」 旋律の特徴と曲の変化を聴き取る。	○			○	a:音楽を形づくっている要素の働きに、興味・関心を持っている。 d: 音楽を形づくっている要素と感じ取ったことを結びつけて、特徴を言葉で表している。	観察 ワークシート
2学期	言葉のリズムを感じとって歌おう	**歌唱** 「野ばら」 (シューベルト) ドイツ語の発音の特徴を生かして、歌詞の内容に応じた表現を工夫する。	○	○			a:歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の関連を積極的に感じ取り、伝えようとしている。 b:曲想を把握して、主体的に表現を工夫している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

2学期	ギターのレパートリーをふやそう	**器楽** 〈ギター〉 「サザエさん」 「となりのトトロ」 「木星」 基礎的な奏法を確実に身につける。 常に音色を意識し、曲想を生かして、演奏を工夫する。	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏に主体的に取り組んでいる。 b:曲想を生かして、主体的に表現を工夫している。 c:正しい奏法を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	文楽に親しむ	**鑑賞** 文楽(人形浄瑠璃) 「義経千本桜」から 『道行初音旅』 我が国の伝統音楽に親しみ、その特徴を知る。	○			○	a:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、 それらの価値を考えることを通して、文楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
3学期	美しい日本語で歌おう	**歌唱** 「花」 「故郷」 「夏の思い出」 「虫の声」 「冬景色」 歌詞の内容を理解し、言葉のイメージを大切に歌う。	○	○	○		a:歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素とのかかわりに興味・関心をもっている。 b:歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素の働きを感じて、表現を工夫している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技法を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	アンサンブルを楽しもう	**器楽** 〈ギターアンサンブル〉 「オブラディ・オブラダ」 パートの役割を理解し、器楽アンサンブルの楽しさを味わう。	○	○	○		a:各パートの役割を理解し、ギターアンサンブルに興味・関心をもっている。 b:各パートにふさわしい表現を工夫している。 c: 各パートにふさわしい表現をするための技法を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d: 鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。